中学生にすすめる50冊

鹿児島市立図書館

『中学生にすすめる５０冊』をお届けします。

この冊子は、「中学時代にいろんな種類の多くの本を読んでほしい」という思いで、鹿児島市内の中学校の先生や学校図書館司書の方々と市立図書館職員が選んだ本を紹介しています。

感動する本、ためになる本、新しい発見をする本……中学生に読んでほしいと思う本ばかりです。

５０冊の本は、あなたにとっておもしろいと思う本ばかりではないかもしれませんが、１冊でも２冊でも、読んでよかった……と思ってもらえる本があればうれしいです。

また、全ての本を読むことはできなくても、この冊子を読んで、「こんな本もあるんだな」と知ってもらうことも期待しています。

あなたの豊かな読書生活をお手伝いできますように……。

鹿児島市立図書館

これが５０冊！

1　『自分のことがわかる本』
2　『働くことを考えはじめたとき読む本』
3　『涙の数だけ大きくなれる！』
4　『世界でいちばん貧しい大統領からきみへ』
5　『日本の川を旅する』
6　『武器より一冊の本をください　少女マララ・ユスフザイの祈り』
7　『世界がもし100人の村だったら』
8　『新13歳のハローワーク』
9　『すごい空の見つけかた』
10　『世界で一番美しい元素図鑑』
11　『かごしまのおかず　郷土の食材と料理』
12　『ハチドリのひとしずく』
13　『奇跡のリンゴ 「絶対不可能」を覆した農家木村秋則の記録』
14　『ヒット商品研究所へようこそ！』
15　『折り紙でたくさんの笑顔を』
16　『えんとつ町のプペル』
17　『心を整える。』
18　『からくり夢時計』
19　『ツバキ文具店』
20　『わたしがここにいる理由』
21　『青い鳥』
22　『カラフル』
23　『銀河鉄道の夜』
24　『坊っちゃん』
25　『阪急電車』

26　『風が強く吹いている』
27　『渋谷ギャル店員　ひとりではじめたアフリカボランティア』
28　『博士の愛した数式』
29　『ピアチェーレ　風の歌声』
30　『壬生義士伝』
31　『1リットルの涙』
32　『植物図鑑』
33　『桜風堂ものがたり』
34　『夜のピクニック』
35　『李陵・山月記』
36　『みんなの篤姫』
37　『鹿児島ことばあそびうた』
38　『感動は心の扉をひらく』
39　『鹿児島県謎解き散歩』
40　『西郷どんとよばれた男』
41　『考え方ひとつで人生は変わる』
42　『星の王子さま』
43　『モモ』
44　『ナルニア国物語　ライオンと魔女』
45　『ハリー・ポッターと賢者の石』
46　『ブロード街の12日間』
47　『国を救った数学少女』
48　『アルジャーノンに花束を』
49　『たいせつなあなた　あなたへ8』
50　『世界一ときめく質問、宇宙一やさしい答え』

1	しょめい 書名	じぶん ほん 自分のことがわかる本 ポジティブ・アプローチで描く未来	
	ちょしゃ 著者	あべ　ひろえ 安部　博枝（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		いわなみしょてん 岩波書店	

　あなたは自分の良いところを３つあげられますか？意外とあげられないですね。どちらかというと悪いところはいくらでもあげられる人が多いです。

　でも、みなさん、必ず自分にしかできないことがありますよ。それを、この本を読んで、シートやテストに挑戦して、確認してください。自分を知ることができれば、肯定できるようになります。そうすれば、１０年後、２０年後の自分の姿を想像できます。

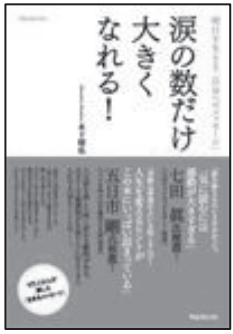
　あなたのなりたい職業も探して、人生設計を立ててみませんか？

2	しょめい 書名	働くことを 考えはじめたとき読む本	
	ちょしゃ 著者	ありかわ まゆみ 有川 真由美（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		PHP研究所	

著者は、就職した会社を半年で辞めました。その仕事が自分に向いていないと思ったからだそうです。その後、再就職にはマイナスのイメージをもたれてしまいます。

この本には、そのことがきっかけで「働くこと」や「自分自身」と向き合った著者からのアドバイスがわかりやすく書かれています。

自分の進路や「働くこと」について、そろそろ考える時期です。きっと参考になると思います。

3	しょめい 書名	涙の数だけ大きくなれる! 明日を生きる「自分へのメッセージ」	
	ちょしゃ 著者	きのした はるひろ 木下 晴弘（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		フォレスト出版	

部活動の大きな大会前、家族に感謝の言葉を言って、家を出ていますか？感謝し恩を感じると、それに応えようと、持っている力が大きく発揮されますよ。

「人は一瞬で変わる」できごとが、この本にいっぱい書かれています。人が変わるとき「涙」が流れます。著者の木下氏は、感情を押し殺さず、美しい涙を流してほしいと言っています。これからの長い人生のために、読んで大きく成長しましょう。

4	しょめい 書名	世界でいちばん貧しい 大統領からきみへ	
	ちょしゃ 著者	ホセ・ムヒカ　（著） くさば　よしみ（文） 田口　美千代（絵）	
しゅっぱんしゃ 出版社		ちょうぶんしゃ 汐文社	

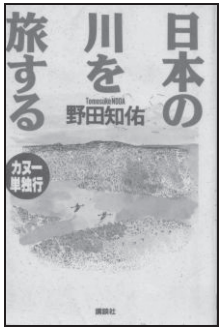
「人生をたっぷり味わいなさい。もっと生きることをめがけて。」このことばで作品が締めくくられています。

「世界で一番貧しい大統領」と呼ばれたホセ・ムヒカ氏。彼は軍事政権による４度の投獄生活を送り、その後、大統領となりました。投獄生活という自由を奪われた経験を通して見えてきたもの、考えたことをとても分かりやすくわたしたちに伝えてくれています。

人が他人と関わり合いながらどう生きていくか、挫折や問題をどう乗り越えていくか……。

ムヒカ氏からみなさんへのメッセージを、じっくり読み味わってください。読み終わった後は、目の前の景色がなんだかいつもと違って見えるかもしれません。

5	しょめい 書名	日本の川を旅する
	ちょしゃ 著者	野田 知佑
しゅっぱんしゃ 出版社		こうだんしゃ 講談社

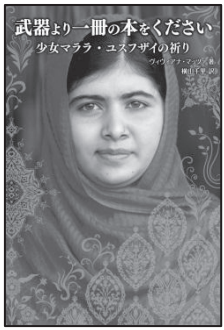


北は北海道・釧路川から、南は鹿児島・川内川まで全国１４の川を、単身、カヌーで漕ぎ下る。

釧路川では、強烈な野の気配に圧倒され、多摩川では、その汚染ぶりに憤慨する。

急流に武者震いをし、「川は眺めるものではなくて、とびこむもの、泳ぐもの、潜って魚をふん掴まえるもの」と豪語する。そして、「日本の川を行くのは哀しい。それは失われたものへの挽歌を聴く旅だ」と嘆く。

「川遊び」を知り尽くした作者の、川からの眼差しは暖かく、鋭く、深い。

6	しょめい 書名	武器より一冊の本をください 少女マララ・ユスフザイの祈り	
	ちょしゃ 著者	ヴィヴィアナ・マッツァ（著） 横山　千里（訳）	
しゅっぱんしゃ 出版社		きんのほししゃ 金の星社	

女性への教育の必要性や平和への願いを訴えたがためにタリバンに銃撃されたパキスタンの１５歳の少女、マララ・ユスフザイ。

奇跡的に一命をととりとめた彼女は、国連で「すべての人に平和と教育を　教育こそただ一つの解決策」と世界に訴え、２０１４年にノーベル平和賞を受賞しました。

この本は、マララの住んでいた地域の歴史と現状、マララの将来への希望がつづられています。マララの思いがきっと読む人のこころにひびくはずです。世界の平和について考えさせられる一冊です。

7	しょめい 書名	世界がもし １００人の村だったら	
	ちょしゃ 著者	池田 香代子（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		マガジンハウス	

ネットを見ていると、日本に対する世界からのコメントの中に、「あの国は別の星にある」「あの国は、わたしたちの国の何年も先を行っている」というコメントを目にすることがあります。

これは、日本の技術力の高さや民度の高さなどを評してのコメントです。日本人として誇らしいことですね。みなさんは、そんな恵まれた環境に生まれ育っています。

では、世界の国々や人々はどうなのでしょう。この本は、世界に生きている６３億人の人口を『１００人の村』に凝縮したら、どんな現実が見えてくるかを著した名作です。

「現代の民話」とも言われています。

8	しょめい 書名	新１３歳のハローワーク	
	ちょしゃ 著者	村上　龍（著） はまの　ゆか（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		げんとうしゃ 幻冬舎	

みなさんは、夢を持っていますか？将来、どんな職業に就きたいですか？

この本は、１３歳、あるいはその前後の年齢の子どもたちに向けて、著者の村上龍氏が、夢や好奇心を持ってほしい、できるだけ多くの子どもたちに、自分に向いた仕事、自分にぴったりの仕事を見つけてほしい、と考えて作られた本です。

伝統的な職業から新しい職業まで、ありとあらゆる職業が網羅されていて、「へぇ、こんな仕事もあるのか」と、見るだけでも興味を掻き立てられる本です。

みなさんの未来が輝けるものになることを祈っています。

9	しょめい 書名	すごい空の見つけかた	
	ちょしゃ 著者	武田　康男（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		そうしししゃ 草思社	

ふと空を見上げると、美しい夕焼けです。その景色に感動したことはありませんか？

この本は、気象写真の第一人者による空の写真集です。武田さんの撮る空はとても美しいです。皆さんは、いろんな現象が起こる空に名前がつけられていることを知っていますか？その現象が起こる理由や、どうすれば見ることができるか、実体験と科学的知見をもとに解説してあります。

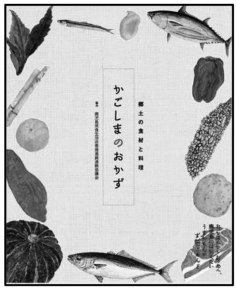
この本の写真で癒やされてください。そして空を見上げてみましょう。

10	しょめい 書名	世界で一番美しい元素図鑑	
	ちょしゃ 著者	セオドア・グレイ（著） ニック・マン（写真） 若林文高（監修）武井摩利（訳）	
	しゅっぱんしゃ 出版社	創元社	

すべてのものは元素からできている。身の回りの物に、こんな元素が使われていたんだなあとあらためて発見・認識できる図鑑です。

元素記号だけ頭にいれておくよりも、この本を読んで紹介されている物質とリンクさせておくと頭に残りやすいです。

また、こんなにカラフルで美しい元素図鑑は見たことがありません。図鑑であることはもちろん、写真集であり、美術書でもある。少し大きくて重いですが、見ないと、いいえ読まないと後悔します。理科好きな人もそうでない人にもおすすめの１冊です。

11	しょめい 書名	かごしまのおかず 郷土の食材と料理	
	ちょしゃ 著者	かいこうしゃはやまへんしゅうしつ 開港舎葉山編集室（編）	
しゅっぱんしゃ 出版社		かいこうしゃ 開港舎	

きょうど　しょくざい　かていりょうり　かごしま
郷土の食材から家庭料理まで、鹿児島の「おかず」が全ページカラーで紹介されています。わかりやすく手軽に作れる、四季折々のおかずレシピが、その数なんと２００点！

ちいき　たずさ　ひとびと　ふ
また、地域ごとの「食」に携わる人々にも触れてあり、レシピ集という枠を超えて、実際にそこに行ってみたい・作ってみたい・食べてみたいと体験したくなる資料です。あなたもぜひ「かごしまのうんまかもん」作ってみませんか？

12	しょめい 書名	ハチドリのひとしずく いま、私にできること
	ちょしゃ 著者	つじ　しんいち 辻　信一（監修）
しゅっぱんしゃ 出版社		こうぶんしゃ 光文社

なんべい　せんじゅうみん　つた
南米の先住民に伝わる、クリキンディという名のハチドリのお話です。絶望的な状況の中で、小さなハチドリのとった行動と言葉が胸に響きます。

さらに、クリキンディのように「いま、自分にできること」をしている16人の様々な人物を紹介。今日から始められる、環境にいい暮らし方もわかります。

自然との付き合い方を考えながら読んでください。とても短い物語ですが、いま、わたしたちの世界に起きている深刻な問題に向きあっていくための、大切なヒントがつまっている一冊です。

13	しょめい 書名	奇跡のリンゴ 「絶対不可能」を覆した農家木村秋則の記録
	ちょしゃ 著者	石川　拓治（著） NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」制作班（監修）
	しゅっぱんしゃ 出版社	幻冬舎

「農薬も肥料も使わずに、たわわにりんごを実らせる。」言葉にするのは簡単ですが、これがとても大変なことなのです。

現在わたしたちが日常、口にするりんごは農薬と肥料に守られた過保護な環境でしか実を結ぶことができないのだそうです。無農薬栽培を実現するには、本来の強さを持つ自然の姿に戻さなくてはならないのです。

誰もが無理だと考えていた、無農薬でのりんご栽培。成功までの木村さんのねばり強さに感動です。NHK「プロフェッショナル　仕事の流儀」でも放送されました。

14	しょめい 書名	ヒット商品研究所へようこそ！	
	ちょしゃ 著者	こうやま のりお （著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		こうだんしゃ 講談社	

世の中は、あふれんばかりのヒット商品で埋め尽くされている。

でも、そのヒット商品って、どうやってできるのか？ どんな人たちが、どんなふうに考えて生み出したのか？ヒット商品を作るのは難しいのかな？

アイス「ガリガリ君」、運動会で主役になれる靴「瞬足」、大人の知らないベストセラー「青い鳥文庫」をピックアップ。それぞれの商品を生み出した大人たちの仕事ぶりを紹介する。

15	しょめい 書名	折り紙でたくさんの笑顔を 盲目の「折り紙大使」　加瀬三郎物語	
	ちょしゃ 著者	田島　栄次（文・写真）	
しゅっぱんしゃ 出版社		学研教育出版	

小学生のときに、視力を失った加瀬三郎さんは、マッサージ師の仕事をしながら趣味で折り紙を始めます。

失敗を何度も繰り返しながら、加瀬さんは折り紙の技を身につけ、やがて「折り紙大使」として、世界中の子どもたちの元を訪れます。その中には、戦争で家族を失った子どもや事故や病気で障害を負った子どももたくさんいました。

「折り紙」を通して、心の交流と笑顔を育んだ加瀬さんに、人間のもつ限りない可能性と輝きを感じます。

16	しょめい 書名	えんとつ町のプペル	
	ちょしゃ 著者	にしの　あきひろ（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		げんとうしゃ 幻冬舎	

４０００メートルの崖に囲まれ、そとの世界を知らない、えんとつだらけの町。町のはずれのごみの山から、ごみ人間が生まれました。その姿とにおいから、町の人々は、彼をさけ、いじめる人も。

ただ一人、えんとつそうじ屋のルビッチという少年は、彼のことをさけず、名前がなかったごみ人間に「プペル」と名前をつけ、仲良く遊ぶようになりました。

絵本は子どもっぽいと思って手に取らないあなたも、ページをめくる手がとまらないと思います。

また、美しい絵もさることながら、プペルとルビッチの友情、信じることの大切さを感じることができる一冊です。

17	しょめい 書名	こころ 心 を ととの 整 え る 。 勝利をたぐり寄せるための 56 の習慣	
	ちょしゃ 著者	はせべ まこと 長谷部　誠（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		げんとうしゃ 幻冬舎	

もと にほんだいひょう はせべ
元サッカー日本代表キャプテン・長谷部
まことせんしゅ こころ ととの ふだん おこな
誠選手が、心を「整える」ために普段から行
じゅつ か
っているメンタル術が書かれています。

「心を整える。」って、いったいどういうこ
しょうり せいり ひつよう
と？勝利に心の整理が必要なの？

ふくだい しゅうかん
副題は「５６の習慣」となっており、そのどれもが、誰もが無理なく実践できる内容です。

せんしゅ ちょさく わくぐ こ
スポーツ選手の著作という枠組みを越えて、
よ え さつ おも
読んで得るものがある１冊だと思います。

18	書名	からくり夢時計	
	著者	川口　雅幸（著）	
出版社		アルファポリス	

この物語は、さびれた商店街を舞台に、主人公の聖時が、生まれる前にタイムスリップするお話です。

毎日一緒にいる家族という存在。煙たくなる時もあります。聖時はタイムスリップして、客観的な目で自分を見た時、「ない」ものばかりに思えていたことが、「ある」もので満たされていたことに気づかされます。「おかあさん」への思い、「聖時」という名をつけた親の思いに心が熱くなります。

他にもいろんな人の思いが詰まったクリスマスプレゼントのような物語です。

19	しょめい 書名	ツバキ文具店
	ちょしゃ 著者	小川　糸（著）
しゅっぱんしゃ 出版社		げんとうしゃ 幻冬舎

先代（祖母）が残した「代筆屋」を継ぐことになった鳩子。ラブレター、円満離婚の報告、絶縁状、亡くなった夫からの手紙……と、一風変わった代筆の依頼が舞い込んできます。

幼い頃から厳しく育てられ、反発していた鳩子でしたが、代筆の仕事に向き合っていくうちに、先代の本当の想いを知ることに……。

20	書名	わたしがここにいる理由
	著者	片川　優子　（作） シライシ　ユウコ（絵）
出版社		岩崎書店

璃湖、一輝、彩加里の三人は幼なじみです。璃湖は私立の女子校へ、一輝と彩加里は公立の中学校へ進学します。環境の変化に気持ちが追いつかなくて不安になったり、投げやりになったり、困ったりしてそれぞれに悩みを抱えます。

みなさんの中には、この三人の誰かと重なるところのある人や、彼らの同級生たちと同じ立場の人もいるでしょう。きっと共感できることも多いと思います。

21	しょめい 書名	青い鳥
	ちょしゃ 著者	重松清（著）
しゅっぱんしゃ 出版社		新潮社

中学校の非常勤講師の村内先生は、言葉がつっかえてうまく話せません。生徒からもからかいを通り越して、不安に思われるほど彼の話す姿は滑稽です。ですが、その分、先生は「大切なこと」を言葉にします。声を出せなくなった生徒、担任を刺してしまった生徒……。一人ぼっちの彼らに先生がすることは、ただ「寄り添う」こと。中学生の時、こんな先生に出会いたかったと思える８つの短編集。

22	書名	カ　ラ　フ　ル	
	著者	森 絵都（著）	
出版社		講談社	

死んだはずのぼくの魂は、天使に「抽選に当たりました」と言われ、「小林真」という中学生の体を借りて、再挑戦のチャンスを与えられます。

そして、家族や同級生たちとの関わりを通して、自分の犯した過ちに気づきます。

この世界には、たくさんの色が混在します。自分が見ている色は、違う角度から見ると、違う色に見えるかもしれません。自分の人生を生きていくのに、勇気を与えてくれる一冊です。

23	しょめい 書名	ぎんがてつどうのよる 銀河鉄道の夜
	ちょしゃ 著者	みやざわけんじ 宮沢賢治（著） みやざわせいろく・ほりおせいし 宮沢清六・堀尾青史（編）
しゅっぱんしゃ 出版社		いわさきしょてん 岩崎書店

「銀河鉄道」に乗って星を巡る旅。旅の終わりに見つけたものは何だったのでしょう。

同級生にからかわれがちな主人公ジョバンニが、ある晩星空を眺めていると、突然まぶしい光に包まれます。気づくと銀河鉄道に乗っていました。なぜか一緒に乗っていたのは同級生のカムパネルラ。クライマックスに見えてくる「本当の幸い」とは……。

宮沢賢治の世界観を味わいながら、心震える旅に出かけてみませんか。

24	しょめい 書名	坊　っ　ち　ゃ　ん
	ちょしゃ 著者	なつめ　そうせき 夏目　漱石（著）
しゅっぱんしゃ 出版社		こうだんしゃ 講談社

日本を代表する小説家、夏目漱石の作品です。昔から世界各国でも作品が読まれています。皆さんに、ぜひ一冊は読んでほしい作家です。

中学生の皆さんから見ると、明治時代に使われていた言葉や、漢字も多いですから、一見、わかりづらいように感じるかもしれません。しかし、四国の松山中学校に、教師として赴任した坊ちゃんの学校生活を、ハラハラしたり、笑ったりしながら楽しく読むことができます。

坊ちゃんを取り巻く人物もそれぞれにユニークです。そんな先生たち、あなたの学校にはいませんか?

25	しょめい 書名	はん　きゅう　でん　しゃ 阪　急　電　車	
	ちょしゃ 著者	ありかわ　ひろ 有川　浩（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		げんとうしゃ 幻冬舎	

ぶたい　かんさい　そんざい　えんせん
舞台は関西に存在する、とある沿線。

でんしゃ　なか　い　あ　さまざま　できごと
電車の中で居合わせた様々な出来事がきっかけとなり、それぞれの乗客の心を前へ向かわせていきます。

としょかん　み　き　かのじょ　ぐう
図書館で見かけ、気になっていた彼女との偶然の会話。理由ありの結婚式の帰路。迷惑な乗客とのやりとり。乗り過ごす中で聞いた会話。乗り合わせた者同士のつながりも、読みどころです。

26	しょめい 書名	風が強く吹いている
	ちょしゃ 著者	三浦　しをん（著）
しゅっぱんしゃ 出版社		新潮社

寛政大学に入学した蔵原走は、学生寮「竹青荘」の住人全員で箱根駅伝を目指すことになります。

走と選手兼指導者の清瀬灰二以外は、ほぼ素人の集団。地獄のトレーニングを経て、記録会・予選会を突破した十人は、箱根でゴールまで襷をつなぐことができるのか？ハイジの言う「頂点」とは？

正月の箱根路にたどり着くまでは「ぷっ」と吹きだす笑いどころ満載の展開。一方、本番シーンでは、笑いもありながら、涙でハンカチが手放せない感動作です。

27	しょめい 書名	渋谷ギャル店員 ひとりではじめたアフリカボランティア	
	ちょしゃ 著者	くりやま 栗山　さやか（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		きん　ほししゃ 金の星社	

アフリカで、貧しさや病気に苦しむ女性や子どもを支援する協会を、たった一人で立ち上げ、今も活動を続けている女性のノンフィクションです。

著者の、「苦しんでいる人を助けたい」という、献身的で、ひたむきな思いには、本当に胸を打たれます。

現在もアフリカでは多くの人が、貧しさや病気に苦しみ、満足な医療や教育を受けられずに亡くなっているという現実を知り、日本の便利な生活は決して当たり前ではないのだと深く考えさせられる作品です。

28	しょめい 書名	はかせのあいしたすうしき 博士の愛した数式
	ちょしゃ 著者	おがわ　ようこ 小川　洋子（著）
しゅっぱんしゃ 出版社		しんちょうしゃ 新潮社

「ぼくの記憶は80分しかもたない」

博士は６４才、数論専門の元大学教師、交通事故で脳にダメージを受けたのだ。

博士が愛したのは、素数と完全数２８を背番号に持つ江夏豊だった。

博士のもとに派遣された家政婦の私と、その息子ルート１０才(頭のてっぺんがルート記号のように平だったから)、三人の新しい生活が始まる。

博士の数学に対する真摯な姿、造詣の深さ、子どもに向ける愛の深さ、その博士を敬愛する二人のふれあいが、心にしみる物語。

第1回本屋大賞受賞作。

29	しょめい 書名	ピアチェーレ　風の歌声	
	ちょしゃ 著者	にしがき　ようこ（作） 北見　葉胡（装画）	
しゅっぱんしゃ 出版社		小峰書店	

ピアチェーレとは、イタリア語で「自由に」とか「喜びの気持ちを持つ」という意味です。この物語は、その心をもって歌い、一歩前に進むことができた少女の話です。

主人公の嘉穂は、母親を亡くし、祖父母と弟の穂高、おばと暮らす中２の女の子。

父親は再婚し、地方に住んでいるが、時々、嘉穂と穂高に会いに来る。二つの家族の間で揺れる嘉穂。しかし、大人に遠慮し、自分の気持ちを表に出すことはない。そんなとき、声楽を習い始めた嘉穂は、どんどん声楽にひかれていく。そして、歌うことで閉ざされた心も解放されていきます。

30	しょめい 書名	みぶぎしでん 壬生義士伝
	ちょしゃ 著者	あさだじろう 浅田次郎（著）
しゅっぱんしゃ 出版社		ぶんげいしゅんじゅう 文芸春秋

自らの子、そして愛する妻のため、貧困がゆえに盛岡の南部藩を脱藩して新撰組隊士となった吉村貫一郎。

この物語は独特の南部なまりのある吉村の独白と、彼に縁のある者たちの話により進んでいきます。吉村以外にも出てくる魅力的な新撰組の面々や、彼独特のなまり口調も印象的です。

彼が生涯かけて貫き通した「義」とは。

一人の武士、そして一人の父親としての彼の生き様は力強いものがあります。

あの殺伐とした時代にも確かにあった親子愛、家族愛に心打たれる作品です。

31	書名	1 リットルの涙	
	著者	木藤 亜也（著）	
出版社		エフエー出版	

みなさんは、ある日突然、治療法のない難病にかかってしまったらどうしますか。

この本は、人間の脳にある、身体のバランスやすばやい運動をするのに必要な神経細胞が変化し、最後には消えてしまうという「脊髄小脳変性症」という、病気に侵された木藤亜也さんという少女の日記です。

亜也さんは、１５才のころに病気の前兆が現れ、徐々に筋力が衰えて、歩くことも話すこともできなくなってしまいます。

多くの涙を流しながら、挫折を支えてくれた家族や友だちに感謝し、最後まで懸命に生きた亜也さんに「生」の意味を教えてもらえる一冊です。

32	しょめい 書名	しょく ぶつ ず かん 植物図鑑	
	ちょしゃ 著者	ありかわ ひろ 有川 浩（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		かどかわしょてん 角川書店	

会社員“さやか”と、植物オタク“樹”が、道端や草原に生えている季節の“草花”を、狩り（摘み歩き）して料る（料理して）、そして食する「ご近所冒険物語」です。

草花に詳しくなくても、ふらっと近所を散歩したくなるくらい、十分楽しめる内容です。作中登場する草花は、見開き写真を見ながら読み進めるのも良いですし、本物の植物図鑑を手元に置いて読み進めるのも良いと思います。

巻末には、野草料理レシピも掲載されているので、料理にチャレンジしてみるのもいいかもしれません。

33	しょめい 書名	おう ふう どう 桜風堂ものがたり	
	ちょしゃ 著者	むらやま さき 村山　早紀（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		PHP研究所	

つきはらいっせい　ぎんがどうしょてん　つと　こころやさ
月原一整は、銀河堂書店に勤める心優しい
せいねん　まんび　じけん
青年。しかし、ある万引き事件がきっかけで書
え　きず　い
店を辞めざるを得なくなります。心の傷を癒や
いなかまち　てんしゅ　たず
すために田舎町の桜風堂書店の店主を訪ねる
たび　で　おも
旅に出ますが、その町には一整にとって思いが
きせき　であ　ま
けない、そして、奇跡のような出会いが待って
いました……。

ひと　ひとり　いろいろ　かか　ささ　あ
人は一人ではなく色々な人と関わり、支え合
い　あらた　かん
いながら生きているということを改めて感じ
さ
させられます。人の優しさがたくさん詰まった
あたた　ものがたり　しょてんいん　かずかず
心温まる物語です。また、書店員さんの数々
しごと　し
の仕事を知ることもできます。

34	しょめい 書名	夜のピクニック
	ちょしゃ 著者	恩田陸（著）
しゅっぱんしゃ 出版社		しんちょうしゃ 新潮社

いっちゅうや　ある　きたこうたんれんほこうさい
一昼夜で８０キロを歩く北高鍛錬歩行祭。

むね　ふくざつ　おも　いだ
胸に複雑な思いを抱きながら、たんたんと歩く融や忍。貴子には友だちの美和子にも言えない秘密があり、高校生最後の歩行祭で密かに賭けをし、渡米した杏奈がかけた“おまじない”がそれに絡んで……。

それぞれの生徒の思いが交差する歩行祭。

しんらい　いま　じ　き　あじ　おし
信頼できる友だちのありがたみや、今この時期にしか味わえないものがあると教えてくれる本です。

35	しょめい 書名	李陵・山月記
	ちょしゃ 著者	中島敦（著）
しゅっぱんしゃ 出版社		しんちょうしゃ 新潮社

５千の歩兵だけで１０万の匈奴軍に勇戦するが、捕虜となって生きる道を選ぶ李陵。貧困の苦しい生活にあっても愛国心を貫く蘇武。李陵をかばったために死より恥ずかしい刑に苦しみながら史記を書き上げた司馬遷。苦しみながらも真摯に生きる主人公たちの姿は胸を打ちます。

博学であったが、非凡ではなかった自身の自尊心のために人食い虎に変身する李徴の苦しみを描いた「山月記」など、中国古典に材をとり、人間の存在、生きる意味を問いかける短編６編です。

36	書名	みんなの篤姫	
	著者	寺尾　美保（著）	
出版社		南方新社	

平成３０年のＮＨＫ大河ドラマは「西郷どん」ですが、平成２０年は「篤姫」でした。

薩摩の地から、島津の姫君として、遠く江戸の徳川将軍家に嫁いだ篤姫。

この本は、そんな篤姫のことを、楽しく勉強できる本です。

篤姫の結婚や江戸城でのくらし、篤姫にまつわる鹿児島県の町のことなどを、島津家が開設した歴史博物館の学芸員が、やさしい言い回しで説明します。

37	しょめい 書名	かごしま 鹿児島ことばあそびうた	
	ちょしゃ 著者	うえむら　のりこ 植村　紀子（著） ながの 長野　ヒデ子（画）	
	しゅっぱんしゃ 出版社	せきふうしゃ 石風社	

いま　つか　し
今でも使われて知っている鹿児島のことばから、お盆やお正月など親戚が集まるときに聞いたような昔懐かしい鹿児島のことばがあちこちに散らばって、読んでいるうちに知っている顔が浮かんできて、思わず笑ってしまいます。

「むじょむじょむじょむじょむじょかこじゃ」

おばあちゃんに背中をなでられているような安らぎを感じる本です。

かごしまべん　ゆた　あたた　ひょうげんりょく
鹿児島弁のもつ、豊かで温かい表現力をぜひ味わってみてください。

38	しょめい 書名	感動は心の扉をひらく しらくも君の運命を変えたものは?	
	ちょしゃ 著者	むく　はとじゅう 椋　鳩十（著）	
しゅっぱんしゃ 出版社		あすなろ書房	

椋鳩十氏は、鹿児島県立図書館長を務め、「母と子の２０分間読書運動」を、この鹿児島の地から、全国に広めました。

椋さんの同級生「しらくも君」は、いつもみんなにからかわれ、先生からも見放されていました。三十年ぶりの同窓会で会った彼は、大きな人物に成長を遂げていました。彼を変えたものは何だったのか。

この「しらくも君」の話は、椋氏に読書運動の必要性を確信させてくれたはずです。そして、みなさんに読書の素晴らしさを教えてくれる話です。

39	しょめい 書名	かごしまけんなぞときさんぽ 鹿児島県謎解き散歩	
	ちょしゃ 著者	いまよしひろむ 今吉　弘（著） とくながかずのぶ 徳永和喜（著）	
	しゅっぱんしゃ 出版社	かどかわしょてん 角川書店	

しまづよしひろこう
島津義弘候が、てんかわめ
天下分け目のせきがはらかっせん
関ケ原合戦で
せいぐん
西軍についたのはなぜ?

きょうど えいゆう さいごうたかもり ほんとう しょうがいしゃしん
郷土の英雄、西郷隆盛は、本当に生涯写真を
と
撮らなかったのか?撮らなかったとしたならば、なぜ撮らなかったのか?

やくしまい じょうもんすぎ ふしぎ
屋久島に生きる縄文杉の不思議とは?

なんぼく
南北６００キロの鹿児島県には、たくさんの謎がある。この本では、そんな鹿児島の謎を、
れきし こうこ いせき じんぶつ しゅうきょう ぶんがく
歴史、考古・遺跡、人物、宗教、文学などの
ぶんやべつ かいせつ
分野別に解説する。

40	しょめい 書名	西郷どんとよばれた男	
	ちょしゃ 著者	原口　泉（著）	
	しゅっぱんしゃ 出版社	NHK出版	

平成３０年のＮＨＫ大河ドラマは「西郷どん」です。鹿児島の出身で、明治維新を成し遂げた人です。

２度も離島で過ごしたことや、島津斉彬候や篤姫などから頼りにされていたことが書かれています。

２０１７年には、奄美大島で生まれた「西郷隆盛かるた」の文章なども紹介されています。かるたの文章を読んでみると「西郷隆盛」という人物の偉大さがわかります。「敬天愛人」という言葉の意味がよく理解できると思います。

41	しょめい 書名	考え方ひとつで人生は変わる 思いは実現する	
	ちょしゃ 著者	いなもり　かずお 稲盛　和夫（著）	
	しゅっぱんしゃ 出版社	PHP研究所	

京セラ・ＫＤＤＩの創立者、ＪＡＬの経営再建者として知られる稲盛さん。さぞや恵まれた環境で順風満帆な人生を送られたものと思いがちですが、実は度重なる受験の失敗・結核という病との闘い・就職難・貢献した会社の上司からの侮辱・退職と、まさに苦難の連続でした。後の成功に彼を導いたものは何か？「誰にも負けない努力、明るく前向きな考え方」人生の結果＝考え方×熱意×能力という人生哲学が、心を熱くする必読書です。

42	しょめい 書名	星の王子さま
	ちょしゃ 著者	サンテグジュペリ（作・絵） 池澤　夏樹（訳）
しゅっぱんしゃ 出版社		いわさきしょてん 岩崎書店

主人公は飛行士。その飛行士がサハラ砂漠に不時着し不安な気持ちの中、王子さまと出会うところから物語は始まります。

王子さまの星の話、星を出た経緯、星を出てから立ち寄った星で出会った人々の話を飛行士は聞いていきます。

愛とは何か、友情とは何か、気づかせてくれる一冊です。人生を豊かにする秘訣が作品のいろいろな場面に散りばめられています。

何度も読み返したい、自分の心の成長を測る物差しになる作品です。

43	しょめい 書名	モ　モ	
	ちょしゃ 著者	ミヒャエル・エンデ （作） おおしま 大島　かおり（訳）	
しゅっぱんしゃ 出版社		いわなみしょてん 岩波書店	

「ちゅうがくせい　いそが
中学生は忙おも
しい。」そう思っているあなたにおすす
薦めしたいほん
本です。

　この本は、ちょっとふうが
風変わりでとくべつ　ちから
特別な力をもっている
しょうじょ
少女「モモ」と、じかんちょちくぎんこう
時間貯蓄銀行からやってきた
どろぼう
時間泥棒たちとの
たいけつ　えが
対決を描いたお話です。その
たいけつ　とお
対決を通して、「じんせい
人生にとってたいせつ
大切なものはなに
何か。」ということに
き
気づかされる
さくひん
作品です。とうじょうじんぶつ　こせい　じょうけいびょうしゃ　ゆた
登場人物の個性や情景描写も豊かで、どっぷりと「モモ」のせかい　つ
世界に浸かれます。

　あなたは時間をぬす
盗まれていませんか？

44	しょめい 書名	ナルニア国物語 ライオンと魔女
	ちょしゃ 著者	C. S. ルイス（著） 瀬田　貞二（訳）
しゅっぱんしゃ 出版社		いわなみしょてん 岩波書店

この本は、イギリスの大学教授だったC.S.ルイスが書いた、ナルニア国物語の全7作のうちの第1作目です。

戦争中、田舎に疎開していた、ペベンシーの4きょうだいが、大きな屋敷の衣装ダンスを通り抜けると、そこは雪の降り積もる別世界、ナルニア国というところでした。そこで、子どもたちは、聖なるライオンとともに、悪い魔女と戦います。

ありそうもない冒険が書かれているにもかかわらず、この物語を読むと、まるで自分もその場にいるような感じを受ける、すばらしい作品です。

45	しょめい 書名	ハリー・ポッターと賢者の石	
	ちょしゃ 著者	J.K.ローリング （作） 松岡　佑子 （訳）	
しゅっぱんしゃ 出版社		静山社	

緑の眼に黒い髪、そして額に稲妻型の傷を持つ、魔法学校1年生のハリー・ポッターが、ご存じホグワーツ魔法魔術学校の仲間たちロンやハーマイオニーと力を合わせて、邪悪な力との運命の対決に打ち勝っていく、夢と冒険、友情の物語。

11歳の誕生日の夜に届いた手紙。そのときから、ハリーの人生は一転する……。

ハラハラドキドキのハリーポッターシリーズの記念すべき第１巻。

46	しょめい 書名	ブロード街の１２日間	
	ちょしゃ 著者	デボラ・ホプキンソン （著） 千葉　茂樹（訳）	
しゅっぱんしゃ 出版社		あすなろ書房	

突然、家族や友人が原因不明の病気にかかったら、あなたならどうしますか？

この本は、ビクトリア女王時代のロンドンで実際に起きた「青の恐怖（コレラ大発生）」を取り上げたノンフィクションです。

両親と死別し身寄りのない主人公イールは、仕事を掛け持ちして弟の学費を捻出しながら生活しています。知り合いが次々と病で倒れる中、スノウ博士の助手として、【5つのW】をヒントに「青の恐怖」感染原因を突き止めるために奔走します。

果たして、見事解決できるのでしょうか？

47	しょめい 書名	くにをすくったすうがくしょうじょ 国を救った数学少女	
	ちょしゃ 著者	ヨナス・ヨナソン（著） なかむら　くりこ 中村　久里子（訳）	
	しゅっぱんしゃ 出版社	にしむらしょてん 西村書店	

ノンベコはみなみアフリカにすむ１３さいのおんなの子。がっこうにかよったことがなく、もじのよみかきはできませんが、すうがくのさいのうがあり、あたまのかいてんがはやい女の子でした。そんな彼女はあることがきっかけでスウェーデンにいくことになります。

ドタバタ珍事件から大騒動まで起こる、ブラックユーモアがちらりと光る物語です。

ピンチをチャンスに変え、何があってもあきらめずに前を向き、自分の道を進んでいく彼女の物語を読んでみてください。

48	しょめい 書名	アルジャーノンに花束を
	ちょしゃ 著者	ダニエル・キイス（著） 小尾　芙佐（訳）
しゅっぱんしゃ 出版社		早川書房

３２歳になっても幼児の知能しかないチャーリー・ゴードン。パン屋で一生懸命働きながら、いつも賢くなりたいと思っていた。そんなチャーリーに大学の先生が頭をよくしてくれるという。脳外科手術で超知能をもつようになったチャーリーだが……。

チャーリーの日記という形式で書かれたこの本は、最初はひらがなばかり、表記もでたらめで、とても読みづらいけれど、チャーリーの知能の変化とともに文章も変化します。知能が高まるにつれ、友情や愛情、悲しみや憎しみ……さまざまな問題が彼を苦しめ、せつなくて悲しくて、涙があふれるのは、わたしたちが感じる気持ちに通じるところがあるからかもしれません。

49	しょめい 書名	たいせつなあなた あなたへ８	
	ちょしゃ 著者	レイフ・クリスチャンソン（文） 二文字　理明（訳） カーリ・アールニヴァーラ（絵）	
	しゅっぱんしゃ 出版社	いわさきしょてん 岩崎書店	

「才能のある人には　その才能の生かし方を　自信のない人はその人のできることを急いでいる人には立ち止まってみることを気づかせてあげたい　たくさんの人が待っている　あなたはとてもたいせつな人」

この本はスウェーデンで生まれ、ロングセラーとなった、「あなたへ」シリーズ１５冊のうちの１冊です。

優しい雰囲気の絵と、心が温かくなる言葉に励まされます。生きている誰もがみんな大切な一人です。自分に自信がなくなったとき、ぜひ手にとって読んでほしい１冊です。

50	しょめい 書名	世界一ときめく質問、宇宙一やさしい答え 世界の第一人者は子どもの質問にこう答える
	ちょしゃ 著者	ジェンマ・エルウィン・ハリス（編） 西田　美緒子（訳）タイマ　タカシ（絵）
しゅっぱんしゃ 出版社		かわでしょぼうしんしゃ 河出書房新社

この本では、子どもたちが投げかけた１３１個の素朴な疑問に、１１１人の世界の第一人者が真正面から答えています。

「人間は何のために生きているの？」「毎日が夢のなかのできごとではないと、どうしてわかる？」「宇宙には行き止まりがある？」など、どれも答えに詰まる質問ばかりですが、みなさんならどう答えますか？

普段見過ごされがちな身近な世界の不思議に、はっと気づかされる、ユーモアにあふれた楽しい本です。

「読書通帳」読んだ本の記録

読書を通して感じたことや考えたことを記録してください。
読書の記録は、あなた自身の成長の記録でもあります。

冊数	読んだ日	作　品　名	感じたことや考えたこと
1	年　月　日		
2	年　月　日		
3	年　月　日		
4	年　月　日		
5	年　月　日		
6	年　月　日		
7	年　月　日		
8	年　月　日		
9	年　月　日		
10	年　月　日		
11	年　月　日		
12	年　月　日		
13	年　月　日		
14	年　月　日		
15	年　月　日		
16	年　月　日		
17	年　月　日		
18	年　月　日		
19	年　月　日		
20	年　月　日		
21	年　月　日		
22	年　月　日		
23	年　月　日		
24	年　月　日		
25	年　月　日		

冊数	読んだ日	作　品　名	感じたことや考えたこと
26	年　月　日		
27	年　月　日		
28	年　月　日		
29	年　月　日		
30	年　月　日		
31	年　月　日		
32	年　月　日		
33	年　月　日		
34	年　月　日		
35	年　月　日		
36	年　月　日		
37	年　月　日		
38	年　月　日		
39	年　月　日		
40	年　月　日		
41	年　月　日		
42	年　月　日		
43	年　月　日		
44	年　月　日		
45	年　月　日		
46	年　月　日		
47	年　月　日		
48	年　月　日		
49	年　月　日		
50	年　月　日		
51	年　月　日		
52	年　月　日		
53	年　月　日		

《原稿執筆》

鹿児島市立中学校教職員の方々
鹿児島市立図書館職員

『中学生にすすめる50冊』

平成 30 年 3 月発行

鹿 児 島 市 立 図 書 館

〒890-0063　鹿児島市鴨池二丁目 31-18
ＴＥＬ　099-250-8500
ＦＡＸ　099-250-7157